

SPECIAL 特集 FEATURE

孤立させない自殺予防対策

【インタビュー】「生きる支援」に取り組む 清水康之

保健・福祉の枠を超えてつながる「足立区こころといのちの相談支援事業」 馬場優子

自殺総合対策のための地域ネットワークづくり 経済とこころの悩み相談の連携をめざして 加賀谷久子

働き盛り世代への自殺予防 事業場との連携を通して 柴川ゆかり

島根県雲南圏域でのネットワーク構築の取り組み 奥瀧雅子

包括的な自死遺族支援をしていくために 平谷国子

生を支えるヘルスプロモーション 生きやすい社会のために 佐甲隆

PHOTO & PICK UP 「まちづくり」の現場

毎月20日は「20日ならウォーク」 奈良市に広がる健康づくりの輪 岡本夏子／永松晶子

連載 保健師の仕事—コミュニティ・エンパワメントの援助技術(5) 大木幸子／後輩保健師に伝えたいこと(4)
宮崎美智代／ニュースウォーク(146) 白井正夫／看護系大学・研究所からのメッセージ(65) 三重県立看護大学

編集後記

●気温が乱高下した2月。民主党政権の支持率は乱高下、というより下降気味。一方、野党の自民党の人気は上昇せず、「一億総低空飛行」とも言うのでしょうか。かつて一時代をつくった航空会社が事実上の倒産となるなど、経済の回復はまだのようです。●こうであってほしいという希望のメガネをとおして見るのではなく、厳しい現実から眼をそらさず、目先のことに眼を奪われず、現実をしっかり眼を向けて、さまざまな問題に取り組むことが必要なのではないでしょうか。特定健診で得たものの、見えてきたものについて、今回の特集で掘り下げられたかどうか、ご意見、ご感想をお寄せください。

(杉之尾)

●特定健診・特定保健指導が4月で3年目を迎えます。私は40歳未満なので制度対象外ですが、最近お腹周りが気になっています。近所の体育館のジムに通ったり、川沿いを走ったり、フィットネスゲームを試したりしても、着実に増える腹囲を見るにつれ、加齢を感じます。制度自体がこの先どうなるのか、不明確な部分もあるようですが、本特集では制度を活かしたユニークな取り組みも紹介されています。ぜひご覧ください。●よくよく考えてみると、ジムやジョギングは週1回だけ、ゲームは試しただけでやった気分。そしてコンビニのスイーツを買うのが日課に。加齢のせいだけじゃないかも。

(長谷川)

保健師ジャーナル 第66巻4号 2010年4月10日発行(毎月1回10日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd, 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2010, Printed in Japan

1部定価1,365円(本体1,300円+税5%) 2010年年間購読料(税込、送料弊社負担)15,000円、電子ジャーナル閲覧オプション付20,000円
発行 株式会社 医学書院 代表者 金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部(03)3817-5657 社内案内(03)3817-5600
保健師ジャーナル編集室(03)3817-5774 電子メールアドレス hokenshi@igaku-shoin.co.jp 担当: 杉之尾, 長谷川, 伊藤

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は医学書院が保有します。

JCOPY (社)出版者著作権管理機構委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の承諾を得てください。1348-8333/10/¥250/論文/JCOPY が本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複写につき250円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示の提示をお願いいたします。